

＜組織の分別意識の醸成＞

①分別排出の徹底【項目1】

◆パシフィック横浜施設内から発生する廃棄物を再資源化しやすいように分類するゴミ箱を設置し、バックヤードにて再分別化の選別作業をする

パシフィック横浜の分別について



②従業員への環境教育の実施【項目2】

◆分別排出の徹底を図るために、廃棄物分別辞典を作成



◆全従業員を対象とする廃棄物講習会を実施



＜見える化による発生抑制＞

③発生抑制の推進(廃棄物の見える化)【項目6】

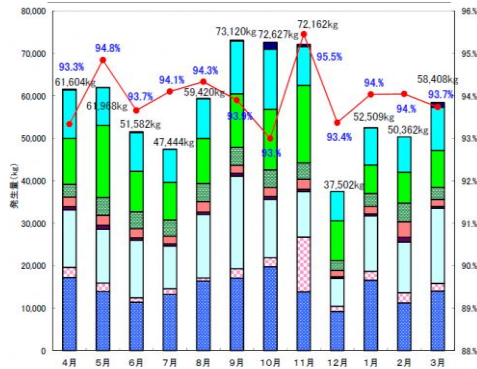
◆分別及び計量の記録

2017年11月 廃棄物回収ノート

回収場所: 会議センター B1~2F

月	日	缶	ペットボトル	ビン	紙	プラスチック	その他	計	再利用率	記録者
26	月									
27	火									
28	水									
29	木									
30	金									
0	土									
0	日									
0	月									
0	火									
0	水									
0	木									
0	金									
0	土									
0	日									
0	月									

◆種類別の発生量及びリサイクル率の集計(月次・年次)



◆イベントごとの排出実績の活用
(利用者への実績提示・次回開催時の排出抑制)

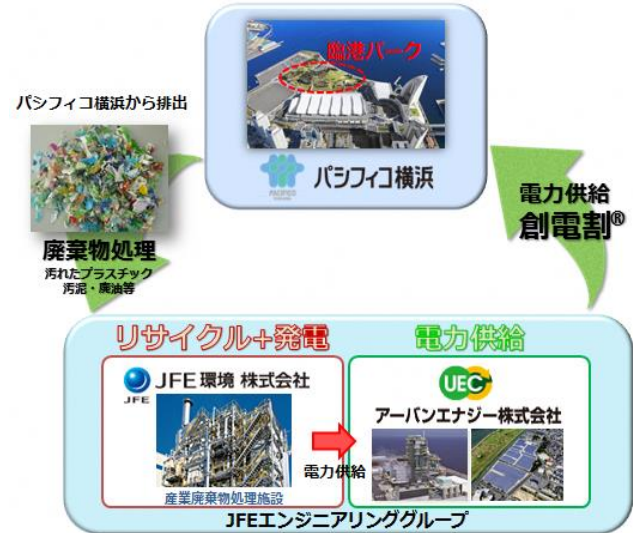
廃棄物処理の見える化

パシフィック横浜では廃棄物の「見える化」を実現!

＜持続可能な社会の実現に向けて＞

④再資源化の推進【項目3】

◆パシフィック横浜施設内の廃棄物(焼却プラ等の一部品目)を燃料とする電力を臨港パークに供給する仕組み



⑤消費者に対するPRの推進【項目10】

◆パシフィック横浜から発生する廃棄物のリサイクルフローを作成し、100%リサイクルに向けた取組みをPR ※会議センター2階及び展示ホール2階に設置

